

第5章 実現に向けて

1. 宇和島市都市計画マスタープランの実現に向けて

1) 市内推進体制の充実

都市計画マスタープランは、都市を形成する道路や公園の整備、景観や歴史的町並みの保全、防災体制の強化等の都市づくりの方針や適切な事業実施のための指針を示すものであり、連携の取れた一体的な都市づくりを展開する。

そのため、市内の関係部局との連携をはじめ、国や愛媛県、周辺市町、各種関係機関等との連携を強化しつつ、計画的かつ効率的な事業への取り組みを推進する。

2) 都市計画制度の活用

用途地域等の地域地区や地区計画など、都市計画に関する制度の活用を図る。

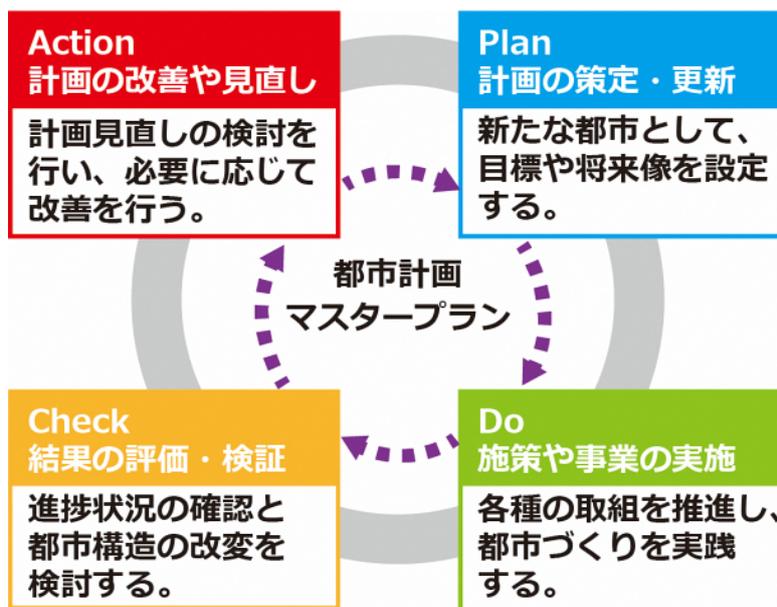
地域に根差した都市づくりを進めるため、市民や企業、NPO、土地の所有者、開発事業者等による都市計画提案制度の活用を支援し、都市づくりや都市計画への関心を高め、主体的な参画を促す。

事業の実施に当たっては、都市計画法に基づく事業を実施し、土地区画整理事業等の面的整備、道路や公園等の都市基盤整備を推進する。また、都市計画決定や見直しについては、必要に応じて速やかに行う。

都市計画法等に基づく対象事業以外の必要性の高い施策や事業では、社会資本整備総合交付金を利用する等、実現可能な整備手法を検討する。

3) 都市計画マスタープランの進行管理および継続的改善（PDCA）

都市計画マスタープランで位置づけた取り組みを推進するとともに、進捗状況の確認や見直しを行い、PDCA サイクルに則した計画的かつ持続可能な都市づくりを目指し、継続的な改善に努める。



4)都市計画マスタープランの見直し

都市計画マスタープランは、約 20 年かけて行われる長期的な都市づくりの基本方針を示すものであり、策定後も地域の状況や地元の要望等に伴い、必要に応じた都市計画の見直しが必要となる。

また、宇和島市総合計画や宇和島都市計画区域マスタープラン、宇和島市立地適正化計画等の上位・関連計画の変更に対応するため、必要に応じて都市計画マスタープランの見直しを検討する。

2.協働による都市づくりの推進

1)市民・企業・行政の協働による都市づくり

持続可能でコンパクトな都市づくりのために、市民や行政、企業、地域のそれぞれの役割を整理する。

市民	<p>◆コミュニティの再生や環境美化等、主体的かつ積極的に身近な都市づくりに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅地や就業地の地域の現状や課題等、都市づくりの実現に向けて、ワークショップや公聴会等の説明会に積極的に参加する。 ○都市計画提案制度を積極的に活用し、居住環境や個性的な景観、歴史的町並み、防災対策等、市民が主体となった都市づくりの提案を行う。 ○生活機能を確保し、地域の活性化を図るため、公共交通ネットワークの積極的な利用を進める。
地域	<p>◆地域に寄り添った課題発見と解決策を提案する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市づくり活動を行う各種団体やNPO等は、都市環境への影響に配慮しつつ、専門的な知識を活用し、地域に寄り添った協力体制の構築や都市づくり計画の立案・実施に取り組む。 ○地域全体で、個性的な景観や歴史文化、農林水産業等の地域資源の魅力を活かした経済活動を推進する。
行政	<p>◆積極的な情報発信や市民と企業等と協働・連携を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市計画マスタープランに基づき、市民や企業、各種団体と合意形成を図り、用途地域の見直し等の計画的な都市づくりを推進する。 ○多様な主体が参加可能な都市づくりの推進に向けた情報提供や情報伝達体制、またその仕組みを構築する。 ○都市づくり活動を行う各種団体やNPOの育成、支援、担い手の育成を図る。 ○市民主体の都市づくりを支援するための財源の確保や人材育成等に取り組む。
企業	<p>◆ノウハウや人材等を活かし、都市づくりに貢献する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に根差した事業活動を通して、地域経済や市民の生活へ継続的な貢献を図る。 ○社会情勢や市民ニーズの把握等、情報収集力や想像力等の豊かなアイデアによる新たな施策へ取り組む。 ○指定管理者制度等を活用した公共施設の維持管理や運営など、企業の経営ノウハウや資金力を活かし、効率的な施設運営や都市経営へ参加する。

2)多世代の市民と多様な主体による拠点の運営

少子高齢化が進行する本市では、多世代間の交流の低下が懸念されているため、多世代や多様な主体が集い、地域コミュニティ力の向上や交流事業の実施による協働・連携する都市づくり拠点の整備計画を策定し、市民互助の支援ができるような仕組みと拠点整備を推進する。

また、災害時においても、平時における地域コミュニティの情報共有や防災イベント等の体験を通し、市民の交流を活かした互助の仕組みを構築し、防災対策の支援の広がりを目指す。

地域	市民互助を促進する拠点整備
宇和島地域	○九島地域：島の保健室および地域交流レストラン「島の思い出ピアノ」（旧診療所と小学校を改修し、モデル地域として稼働中）
三間地域	○市街地付近：もみの木（旧幼稚園を改修し、モデル地域として稼働中）

※同様の拠点を宇和島地域中心部、津島町市街地付近、吉田町市街地付近に拡大予定